



発行者：すずらん保育所
発行日：令和6年4月1日
担当者：看護師 坂本

ご入園、ご進級おめでとうございます

子どもたちが新しい環境に慣れ、笑顔で元気に過ごせるよう
ご家庭ではゆったり過ごす時間を大切にしてくださいね。
私たちも、注意深く見守っていききたいと思います。

【園生活の安心安全のための大事なおねがい】

《おやすみについて》

- 園をお休みする時は、朝 **9時**までに
連絡をお願いします（☎22-5177）
- 病気でお休みする時は、**受診結果や
お子さんの様子**をお知らせください。
- 病気によっては、**意見書や登園届**が
必要な場合もあります。

《緊急連絡先について》

緊急連絡先が変わった時やいつも
と違う時は、**連絡帳に記入**するか
保育士にお知らせください。

連絡先は必ず**連絡のとれる番号**で
お願いします。

《お薬について》

園では原則 投薬はできません

医師の指示がある場合のみ、「**投薬依頼書**」
添付の上、お預かりします。

市販薬、解熱鎮痛剤、下痢止め、以前処方
された薬を保護者の判断で服用させること
はできません。

（投薬依頼書に記入漏れがある場合や
投薬依頼書がない場合も投薬できません）

※初回のみ「お薬の説明書」を提出して下さい

●おねがい●

診察の際には、医師に保育所へ通っていること
を伝え、保育所で服用しなくて良いよう回数
などの調整・相談をお願いします。
また、塗りぐすりなども、医師の指示以外は
自宅で塗ってくるようにお願いします。

《予防接種について》

予防接種には さまざまなメリットがあります

こどもを守る

感染症への抵抗力がついて感染しにくくなり
ます。また、かかったとしても軽くて済み、合併症
などを起こしにくくなります。

みんなを守る

抵抗力を持った人が増えると、人から
人へうつりにくくなる為、感染症の
流行が起こりにくくなります。接種する人が
増えることで、みんながかかりにくくなります。

接種出来ない人を守る

接種する人が増えて、社会全体で感染症の
流行を防げるようになると、妊娠中の人や、
病気など健康上の理由で接種が受けら
れない人を守ることができます。



その一、**登園前には必ず検温を！**

お子さんの体調管理の習慣をつけるとよいですね。
検温だけでなく、お子さんの表情や言動、食欲、排便状況
なども普段と変わらないか毎朝チェックしてみましょう。

その二、**同居家族の体調不良時には休みのご協力を！**

→保護者の方 兄弟児等で体調不良（発熱や風邪症状）の方がいらっしゃった場合
できるだけ休みのご協力をお願いします（強制ではありません）

その三、**発熱時は、解熱後 24 時間が経過してからの登園を！**

その四、**症状が落ち着くまでは、なるべく家庭での保育を！**

→熱だけでなく 風邪症状（激しい鼻水、咳など）がある場合も
含みます

お迎えの連絡を入れる場合は、
体温だけでの判断ではなく、預
かり中の子どもの言動や表情、
食欲、睡眠中の様子などを
観察し、総合的に判断してから
連絡を入れます。

その五、**熱（37.5℃以上）がある時は保育所の利用はできません。**

→預かり中に発熱（37.5℃以上）した場合は、お迎えをお願いします

時折、お家に帰ってから熱が下がっている場合がありますが、その時は無理をせず、
お家でゆったり過ごす等、お子さんの休息を促して頂くような関わりをお願いします。

保育所は、乳幼児が集団で長時間生活を
共にする場となります。感染症の集団発
症や流行をできるだけ防ぐことで、一人
ひとりの子どもが、保育所での一日を快
適に過ごし、生活できるような環境作り
に努めております。ご協力をよろしく
お願いします。

お子さんの健康状態について
気になることや変化があれば
登園時に、直接保育士に伝える
ようお願いします。

ノートへの記載でも構いませんが
お声掛け頂くと、よりお子さんの
様子が把握しやすくなります。

